

あとべ薫 通信



青葉区 仙台市議会議員【4期】

会派:せんだい自民党

市政に緊張感を持って。最新的话题と議会報告をお届けします。

皆様、いかがお過ごしですか。令和5年仙台市議会第1回定例会を終え、様々な課題の解決に向けて、議論を行いました。市民の皆様から寄せられる声を謙虚に受け止めつつ活動することをお約束します。

仙台市総合コールセンター
杜の都 おしえてコール
平日 8時～20時
☎022-398-4894
(土・日・祝日は17時まで)

新型コロナウイルス
感染症
受付・相談センター
☎022-398-9211
(24時間受付・年中無休)

仙台市新型コロナ
ウイルスワクチン接種専用
コールセンター
☎0120-39-5670
(8時30分～19時 土日・祝日も受付)

1 仙台市議会について

令和5年仙台市議会第1回定例会は2月10日(金)から3月14日(火)まで開会し、2023年(令和5年)度一般会計当初予算などの議案と、議員提案条例の議案、人事案件等を議決いたしました。第2回定例会は5月25日(木)から6月9日(金)までの予定です。

2 代表質疑「源泉所得税の納付漏れをめぐる問題」について指摘 (図1・図2を参照)

納税ミスで生じた4,948万円の追徴課税を一般財源から補填することは、市民負担につながるとして厳しく指摘しました。全国から同様の事例を調べ、補填費用を一般財源から削除し、加えて市長や我々議員の期末手当の引き上げを止め、市民の負担を減らす提案を行いました。残念ながら議決にはなりませんでしたが、常に市民目線での提案を行って参ります。

第一回定例会せんだい自民党 代表質疑より

Q 昨年の職員の期末勤労手当(冬のボーナス)の源泉所得税未納について伺う。我が会派は昨年12月の第4回定例会の中で、その補填策や市長をはじめとする我々政治家の責任の取り方について、提案した。その後、他の自治体でも同様の事例がいくつか見つかっている。(図1・2を参照)

A 本件は、特定の部署における事務ミスに伴うものであり、その要因となった行為が明確となっています。関係する職員に賠償責任を負うべき重大な過失があったとまでは言えないことから、個別の職員への賠償請求はできないものと判断しました。関係する職員が法的な賠償責任を負わないという状況のもとで、広く職員に任意の負担をさせるのはそぐわないと判断し、一般財源から支出することいたしました。

【図1】2022年6月
仙台市職員へ支給した夏のボーナスの源泉所得税の納付漏れ

9億6,000万円余

追徴課税
不納付加算税・延滞税
4,948万円余

みなさんの税金
一般財源から補填
5,600万円

内訳
2022年度補正予算から捻出

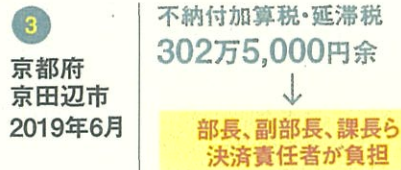
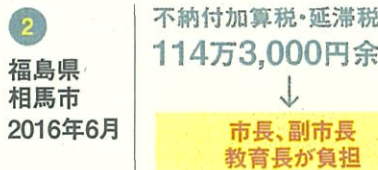
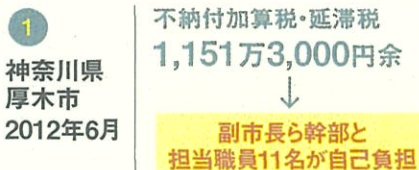
旅費の削減
政策広報経費の削減
3,500万円

入札関連の不要額
(予定価格と落札価格の差)
2,100万円

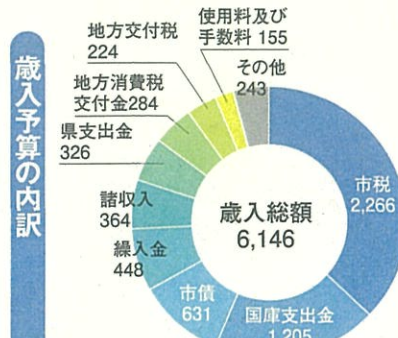
本来なら、他の事業にまわせる大事な予算です。

同様の事例でも仙台市は市民の負担で補填↓

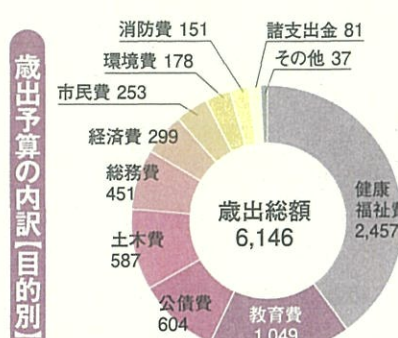
【図2】他県3市の自治体での同様の事例 (自らの責任を認め、職員達が返済してます)



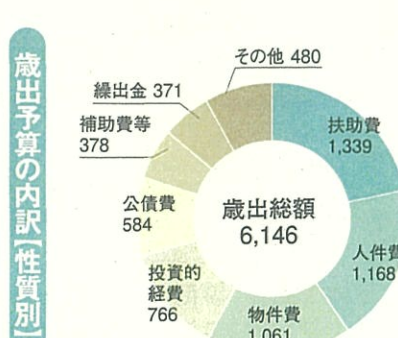
令和5年度 仙台市当初予算の概要



○市税収入は、土地に係る軽減措置終了等による固定資産税などの増加により、前年度に比べて74億円増加。
○国庫支出金は、社会資本整備総合交付金などの増加により、前年度に比べて56億円の増加。



○健康福祉費は、新型コロナウイルスワクチン接種の増加などにより、前年度に比べて104億円の増加。
○経済費は、中小企業融資預託金などの減少により、前年度に比べて22億円の減少。



○人件費、社会保障関係費といった扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、扶助費と公債費は増加しているものの、職員の定年延長による、退職手当を含む人件費の減少などの影響により、前年度に比べて34億円の減少。
○投資的経費は、鶴ヶ谷第二市営住宅団地の建て替えに係る経費などが増加した点などにより、前年度に比べて100億円の増加。



第一回定例会
せんだい自民党 代表質疑
令和5年2月17日〈質問と答弁の抜粋〉

仙台市議会 議会報告

- 音楽ホールの建設の赤字運営への不安、市民負担の増額懸念
- 財政状況の市民理解の促進策

3 町内会・デジタル支援

- DX(デジタル化)を活かした町内会の役員の成り手不足解消策
- 町内会・自治会等のデジタル面での協力、支援を行う区役所支援窓口
- コミュニティ・センターのパソコン等の機器整備や、公的なWi-fi環境の助成
- 一新された仙台市の公式LINEと、連合町内会単位での災害情報共有活用策

4 少子化対策

- 2021年の合計特殊出生率 宮城県1.15、仙台市1.13の現状
- 「少子化の問題」=「人口問題」国が一律一斉に取り組むべき課題の認識
- 婚活事業、出会いの場づくり
- 「プレコンセプションケア」の実施

5 津波浸水想定

- 今後、丁寧な市民周知のあり方について
- 民間ビルや高架道路を活用した避難

6 教育・不登校への対策

- 在籍する学級外での居場所「ステーション」の設置を推進し、担当教員の増員
- 不登校支援コーディネーターを効果的に機能させるなど対策の内容

1 不適切事務

- 郡市長の資金管理団体、「郡和子の会」の政治資金収支報告
- 昨年夏の職員の期末勤勉手当の源泉所得税等の不適切事務(表面を参照)
- 他県3市の事例から、一般財源で補填する妥当性(表面を参照)
- 保育施設等に対する給付費の支給誤り
- 公印偽造及び不正使用など、次々と明らかになる不適切事務処理への懸念

2 財政の見通しと対応の方向性

- 本市の大規模事業と、その推進に係る財政負担
- 従来から1.6倍もの音楽ホールと中心部メモリアル拠点複合施設の整備費
- 物価高騰対策と、本市の水道・ガス料金引き下げ要望の検討状況
- 中小企業、個人事業主、農業者への支援

仙台市議会 第一回定例会

予算等審査特別委員会

令和5年3月1日〈質問と答弁の抜粋〉

予算等審査特別委員会では、本市の子どもの貧困対策と第3の居場所づくりについて質問しました。

- Q1 本市の「子ども・若者の居場所」に関する所見
- Q2 オンライン空間が「居場所」になることの認識
- Q3 オンライン(仮想空間)での相談事例把握
- Q4 「子ども・若者」の主体性、能動的な活動を引き出せるか
- Q5 子どもの欲求、個人的な思いの発露、意思の尊重することの認識
- Q6 日本財団による政策提言への所見
 - ①ガイドラインの策定
 - 「安心・食事・生活習慣・学習・体験」機会の提供
 - ②予算事業への見直し(予算の都合で支援が途切れないよう義務的経費扱いに)
- Q7 学習支援、食事支援の次年度予算確保や、新規事業の対策に向けた少なさの要因
- Q8 新事業「子ども・若者総合相談センター」の内容
- Q9 「ウェル・ビーイング」への理解と認識について



詳しくは仙台市議会ホームページの会議録・議会中継からご覧いただけます。

<https://www.gikai.city.sendai.jp/>

活動報告



2022年10月～11月
北仙台地区・荒巻地区・桜ヶ丘地区の地域懇談会が開催されました。



2022年11月
地元町内会の「西裏憩いの場」では、サツマイモや大根、ねぎなど収穫を楽しむ住民の皆さんの笑顔があふれていました。



2023年1月
仙私幼連合会と仙私幼PTA連合会の共催による、「市長を囲む教育懇談会」が開催されました。この日は市長が出張中で、代わりに藤本副市長が出席しました。

2022年12月
栃木県黒磯市の「SHOZO(ショウゾウ)カフェ」にて。1988年から続くハイセンスなカフェが若い世代の支持を受けブームの火付け役として有名です。やがて黒磯市内のまちづくりに影響を及ぼすなど、幅広い効果が見られた事例を視察しました。



2023年1月
会派で開催した市民向けのシンポジウムの模様。今後、定例会として検討しております。



2023年2月
第47回を数える仙私幼PTA連合会主催の「親と子と教師の絵画展」。今年は宮城県美術館にて開催しました。

仙台市議会議員 跡部 薫(あとべ かある) 仙台市議会 会派「せんだい自民党」会長

- 防災士 ●みやぎ障害者陸上競技協会会長 ●仙台市私立幼稚園PTA連合会会長
- 北仙台地区連合町内会顧問 ●中山学区連合町内会顧問 ●桜ヶ丘学区連合町内会顧問 ●荒巻地区町内会連合会顧問
- 北仙台中学校区コミュニティスクール副会長 ●桜丘中学校区青少年健全育成連絡協議会顧問
- 双葉ヶ丘地区防犯協会実働隊員 ●荒巻マイスクール児童館第三者委員

昭和39年仙台市青葉区生まれ 東北学院榴ヶ岡高校卒業、東北学院大学法学部卒、東北福祉大学大学院修了

仙台市青葉区双葉ヶ丘1-30-22
URL atobe-kaoru.com
e-mail info@atobe-kaoru.com
TEL.022-728-8588
◆会派/せんだい自民党(平日)
TEL.022-214-8644